

※本状は、GMO グローバルサイン株式会社と株式会社スカイコムとの共同プレスリリースです。
各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

2024年12月12日

報道関係各位

GMO グローバルサイン株式会社
株式会社スカイコム

電子署名、e シール、認定タイムスタンプ付与の手間を大幅に削減！ 「e シールアプリ byGMO」を販売開始

～GMO グローバルサインとスカイコムが共同開発、電子文書管理の効率化を加速～

GMO インターネットグループの GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社の連結企業群で、電子認証サービスを展開する GMO グローバルサイン株式会社（代表取締役社長：中條 一郎 以下、GMO グローバルサイン）と、各種 PDF ソリューションを提供する株式会社スカイコム（代表取締役社長：川橋 郁夫 以下、スカイコム）は、電子文書（PDF ファイル）に信頼性を担保する e シールや電子署名、タイムスタンプを簡便に付与できるソリューション「e シールアプリ byGMO」を共同開発しました。

本サービスは、2024年12月12日（木）より GMO グローバルサインを通じて販売開始いたします。



【「e シールアプリ byGMO」とは】

「e シールアプリ byGMO」は、スカイコムが開発・提供する PDF 編集作成ソフト「SkyPDF Professional 8」と、GMO グローバルサインが提供する「認定タイムスタンプ byGMO」および「電子印鑑ソリューション DSS byGMO」を連携させ、一つにパッケージ化した画期的なアプリケーションです。

従来、電子署名や e シールを利用するためには、USB トークンや HSM の購入、あるいはリモート署名サービスとの複雑なシステム連携が必要でした。しかし、「e シールアプリ byGMO」を導入することで、これらの手間を大幅に削減し、より簡便に PDF 文書へ電子署名や e シールを付与できる環境を実現します。

e シールを利用するためには、GMO グローバルサインのソリューション「電子印鑑ソリューション DSS byGMO」の導入が必要です。その際、導入側システムとの連携開発が事前準備として必要でした。しかし、この連携が本アプリケーション内で完結するようになりました。具体的には、PC でアプリを開き、文書をアップロードして、電子署名・e シールまたはタイムスタンプなど実行したい処理を選択するだけで簡単に付与が可能です。また、複数の文書に対して一括署名を行うこともできます。

e シール特有の利用方法である「1 つの署名鍵^(※1)を複数人で共有するケース」にも対応しています。従来、USB トークンで署名鍵を管理している場合、物理的に拠点が異なると鍵を共有できない課題がありました。しかし、本アプリを使用すれば、アプリが設定されている PC からであれば、どこからでも同じ署名鍵を利用することが可能です。さらに、本アプリは「認定タイムスタンプ byGMO」との連携により、直接タイムスタンプを付与することができるようになったことで、長期署名形式 (PAdES^(※2)) にも対応し、電子文書の信頼性と長期保存性を一括で確保します。

(※1) 文書署名用証明書の署名鍵とは、デジタル署名を作成する秘密鍵です。この鍵で文書のハッシュ値を暗号化し署名を生成します。対応する公開鍵は署名の検証に使用され、文書の改ざんや送信者の正当性を確認します。署名鍵は秘密に管理され、公開鍵は証明書で信頼性が保証されます。

(※2) PAdES (PDF Advanced Electronic Signatures) は、PDF 文書における電子署名の国際標準規格で、ETSI (欧州電気通信標準化機構) が策定しました。この規格は、電子署名が法的に有効であることを保証するとともに、改ざん防止や信頼性を提供します。また、EU の eIDAS 規則に準拠し、電子文書の認証や法的効力を求められる場面で広く使用されています。

■ サービスの詳細

e シールアプリ byGMO

<https://jp.globalsign.com/document/signing/e-seal/>

【電子署名の需要拡大と国内 e シールの未来】

2024 年 3 月まで総務省が開催した「e シールに係る検討会」では、e シール用証明書を発行する認証局の認定創設が検討され、国内での e シール需要が高まる見通しが示されています。GMO グローバルサインとスカイコムは、このトレンドに先駆けて、導入しやすく使いやすいアプリケーションを提供することで、企業の電子署名導入を支援し、より安全で信頼性の高い文書管理環境を促進してまいります。

【株式会社スカイコムとは】

『安全・安心な電子文書化社会の実現に貢献』をスローガンに掲げ、電子文書の世界標準フォーマットである「PDF」をコアに据えた PDF ソフトウェアプロダクト (ペーパーレス、業務改革推進のための製品・ソリューション) を提供しています。PDF 技術を自社内で開発する専門性と技術力で強みを発揮し、日本国内のみならず海外においても高い評価を得ています。

国際的な PDF 関連ベンダーの業界団体である PDF アソシエーションメンバーとして、これまで数多くの一般企業、金融機関、官公庁・自治体が利用するシステムやアプリケーションに当社の PDF テクノロジーを提供し、豊富な実績を築いています。

【GMO グローバルサインとは】

GMO グローバルサインは電子認証サービスが登場し始めた初期段階の 1996 年にベルギーでサービスの提供を開始し、ヨーロッパで初めて WebTrust を取得した認証局です。ベルギー政府関連機関への数多くの実績を持ち、eID^(※3) (BELPIC)をはじめとするベルギー電子政府プロジェクトの最上位認証局である、ベルギー政府認証局への認証を行っています。2006 年に GMO インターネットグループにジョインし、政府レベルのセキュリティを、日本をはじめワールドワイドに販売展開しております。2023 年には、SSL サーバ証明書をはじめとした 2,500 万枚の電子証明書発行実績と、政府関連機関や大手企業へ多数の納入実績があります。

また、『CABF(CA/Browser Forum)』^(※4)、『Anti-Phishing Working Group』に参加し、電子証明書市場のリーディングカンパニーとして積極的な活動を行っています。さらに、2018 年 5 月からは、Adobe が 2016 年に設立した電子署名業界および学术界の専門家から構成される国際団体「クラウド署名コンソーシアム」に加盟し、国際的な法規制を遵守したクラウド上の電子署名の実施におけるオープンな標準規格の決定に参加しています。

(※3) ベルギーの電子政府プロジェクトの一環として始まった国民 ID カードプロジェクト。12 歳以上のベルギー全国民に対して電子証明書入りの ID カードが配布される。

(※4) 電子認証事業者及びブラウザベンダを主な構成メンバーとする、電子証明書サービスをとりまく課題解決についての議論や業界ガイドライン作りを行っている世界レベルのボランティアフォーラム

以上

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン株式会社
マーケティング部 坂井
TEL : 03-6370-6500
E-mail : support-jp@globalsign.com
- 株式会社スカイコム
広報部 東・岡田
TEL : 03-5289-0780
E-mail : pr@skycom.jp

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
社長室 広報担当 大月・遠藤
TEL : 03-6415-6100
お問い合わせ : <https://form.gmogshd.com/contact/pr/>
- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 田部井
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【GMO グローバルサイン株式会社】（URL : <https://jp.globalsign.com/>）

会 社 名	GMO グローバルサイン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業
資 本 金	3 億 5,664 万円

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】（URL : <https://www.gmogshd.com/>）

会 社 名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社（東証プライム市場 証券コード：3788）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■電子認証・印鑑事業 ■クラウドインフラ事業 ■DX 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

【株式会社スカイコム】（URL : <https://www.skycom.jp/>）

会 社 名	株式会社スカイコム
所 在 地	東京都千代田区神田松永町 19 秋葉原ビルディング 10 階
代 表 者	代表取締役社長 川橋 郁夫
事 業 内 容	■ソフトウェアプロダクトの開発・販売 （SkyPDF シリーズ/SkyAgent シリーズ/SkyPAS シリーズ） ■システムインテグレーション/コンサルティング ■保守サービス
資 本 金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://www.gmo.jp/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C)2024 GMO GlobalSign K.K. All Rights Reserved.

Copyright (C)2024 SKYCOM Corporation. All Rights Reserved.